

1. 分析物コード

1) 案2の検討 (別紙 分析物コード 案2 参照)

1-1)分析物の考え方

JLAC検査名称	JLAC10		JLAC11案1			JLAC11案2		
	分析物	分析物	分析物	識別	材料	分析物	識別	材料
総蛋白	3A010	総蛋白	総蛋白		血清	総蛋白		血清
尿蛋白定性	1A010	蛋白定性[尿]	尿蛋白	定性	尿	総蛋白(生化学)	定性	尿
尿蛋白定量	1A015	蛋白定量[尿]	尿蛋白	定量	尿	総蛋白(生化学)	定量	尿
髄液蛋白定量	1C010	蛋白定量[髄液]	髄液蛋白	定量	髄液	総蛋白(生化学)	定量	髄液
血糖	3D010	グルコース	グルコース		血清	グルコース		血清
尿糖定性	1A020	糖定性[尿]	尿糖	定性	尿	グルコース(生化学)	定性	尿
尿糖定量	1A025	糖定量[尿]	尿糖	定量	尿	グルコース(生化学)	定量	尿
髄液糖定量	1C015	糖定量[髄液]	髄液糖	定量	髄液	グルコース(生化学)	定量	髄液
HBs抗原定性	5F016	HBs	H B s 抗原	定性	血清	H B s 抗原	定性	血清
HBs抗原定量		HBs	H B s 抗原	定量	血清	H B s 抗原	定量	血清
HCV抗体定量	5F360	HCVウイルス	H C ウイルス抗体	定量	血清	H C ウイルス抗体	定量	血清

その他の項目として 電解質、クレアチニン、アミラーゼなど

1-2)分析物コードの体系について

1-3)分析物の構造について

2. 測定法コード

1) 生化学項目の方法名は例示の様な内容でよいのか？

- ・標準化対応法の細分類を行うか？

2) 専用試薬で分類する案を提示したが、試薬で分類する項目をどの範囲で決めるか？

腫瘍マーカー、内分泌、感染症、LDL-Cなど

3) 装置専用試薬はどの範囲までとするのか？

- ・CK-MB、CRP、電解質、HbA1c、血中薬物など。

TP抗体、RPR、凝固系等はどうするか？

4) 試験紙、イムノクロマト、ドライケミストリーという分類を設けるのか？

(測定原理で吸収する？)

5) 試薬名とした場合に市販されている商品のコード一覧表が出来るか？

6) 試薬名のメンテナンスをどうするか？

7) 細菌検査分野はどうするか？

3. 結果単位コードについて

現行案を集約することで、現在構築中

4. アレルゲン特異 IgE について (JLAC11 コーディング案 IgE 表参照)

抗原名称をすべて固有識別の固定番号を設定し、MAST33などのセット項目は、必要な抗原について固定識別番号から選択しセット検査とする。